

講師

遊佐 安一郎 氏
長谷川メンタルヘルス研究所所長



講師プロフィール

上智大学英語科卒
米国ニューヨーク州立大学オールバニー校
博士課程修了、教育学博士
北海道医療大学大学院臨床心理学客員教授
聖路加国際大学大学院看護学部特任講師

10/16 日

演題

感情調節困難の理解と支援

弁証法的行動療法の日本での応用

境界性パーソナリティ障害、摂食障害、発達障害、物質依存、気分障害など、感情調節が困難なために、標準的な認知行動療法では治療効果が限られてしまうような患者層が多くおられます。そのような患者さん/クライアントの理解と支援に関して、弁証法的行動療法を参考に、日本での応用の可能性について紹介したいと思います。

場所

大分大学医学部臨床大講義室

時間

第1部 10:00~12:00
一般の方にもわかりやすい講義編

第2部 13:00~16:00
技法習得編：ワークショップ

※受付開始は9:30からです。

講師著書

- 「弁証法的行動療法実践トレーニングブック」(M.McKay著:星和書店)
- 「境界性パーソナリティ障害ファミリーガイド」(R.Kreger著:星和書店)
- 「ここは私の居場所じゃない:境界性人格 障害からの回復」(R.Reiland著:星和書店)

※ 臨床心理士の方は、研修ポイント(2P)取得可能

受講費等、セミナーの詳細は裏面をご覧ください

主催

大分認知行動療法研究会
(大分認知行動療法公開セミナー運営委員会)

協賛

国立大学法人大分大学医学部・
大分大学大学院教育学研究科臨床心理学コース
別府大学大学院文学研究科臨床心理学専攻
大分合同新聞

後援



＜平成28年度大分認知行動療法公開セミナー 開催要項＞

認知行動療法(CBT)は、メンタルヘルス活動の中心的方法として国際的に普及しつつあります。わが国でも、エビデンス(科学的実証性)の高い対人援助法として、さまざまな領域で活用されるようになり、専門職には欠かせない理論・技法として広く習得されるようになってきています。また、最近では、心理・精神療法の技法としてだけでなく、一般の人々の生き方にかかわる画期的な発想の転換法としても注目されています。

大分では、5年前から大分認知行動療法研究会が実施主体となり、この分野の最先端で活躍しておられる先生方を全国からお招きし、30回にわたる質の高いセミナーを開催してまいりました。

今年も素晴らしい先生方をお招きし、3回シリーズで、更に内容が充実したセミナーを企画・開催致します。心理療法・精神療法やカウンセリングの専門家の技法修得はもとより、対人援助の仕事に携わっておられる方々の有効な面接技法としてもおすすめです。

そして、一般の方にも、メンタルヘルスの向上のための英知と、人生の質を高めるための“快生のヒント”を随所で提供いたします。特に、今年度のセミナーは、実用性が高いCBTの具体的技法がプログラムに組み込まれていますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日 時

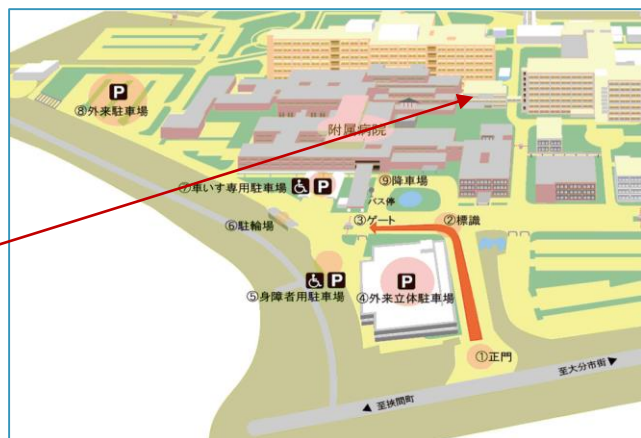
第1回：平成28年10月16日(日) 10:00～16:00
 第2回：平成28年12月4日(日) 12:30～17:30
 第3回：平成29年2月5日(日) 10:00～16:00

講演会場

大分大学医学部臨床大講義室

大分県由布市挾間町医大ケ丘1-1(地図参照)

臨床大講義室



受講費

全3回受講費：10,000円

【各回単独受講の場合、前半講義の部(2時間)：2,000円、
 後半ワークショップの部(3時間)：3,000円】

※下記まで申し込みを頂いた方に、お支払方法などの詳細をメールにてお知らせします。

申込方法

【全回受講申し込み先】

Email: oita.cbta@gmail.com(担当:宗)

※申し込み受付確認のため返信メールを差し上げますので、明確な①申込者名
 ②メールアドレス(返信・連絡のための確実な連絡先)をお知らせください。

問い合わせ

TEL:090-1876-8930(別府大学大学院・中村研究室)